

2022年3月期第1四半期 決算補足説明資料



2021年7月30日
株式会社ミクリード
証券コード：7687

MICREED

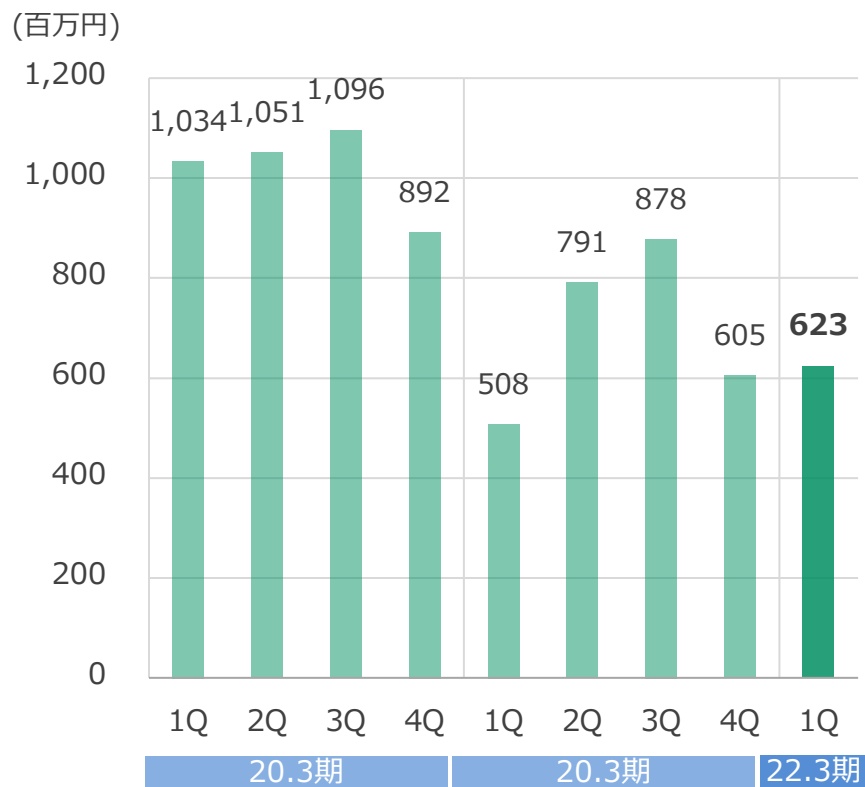
- 新型コロナウイルス感染拡大による飲食店への営業時短要請、酒類提供の制限が影響。前年の期初の大幅減収の反動で、売上高は前年同期比プラス（売上変動の詳細はP.4参照）
- 売上高の増加で営業損失額も若干縮小

(百万円、%)

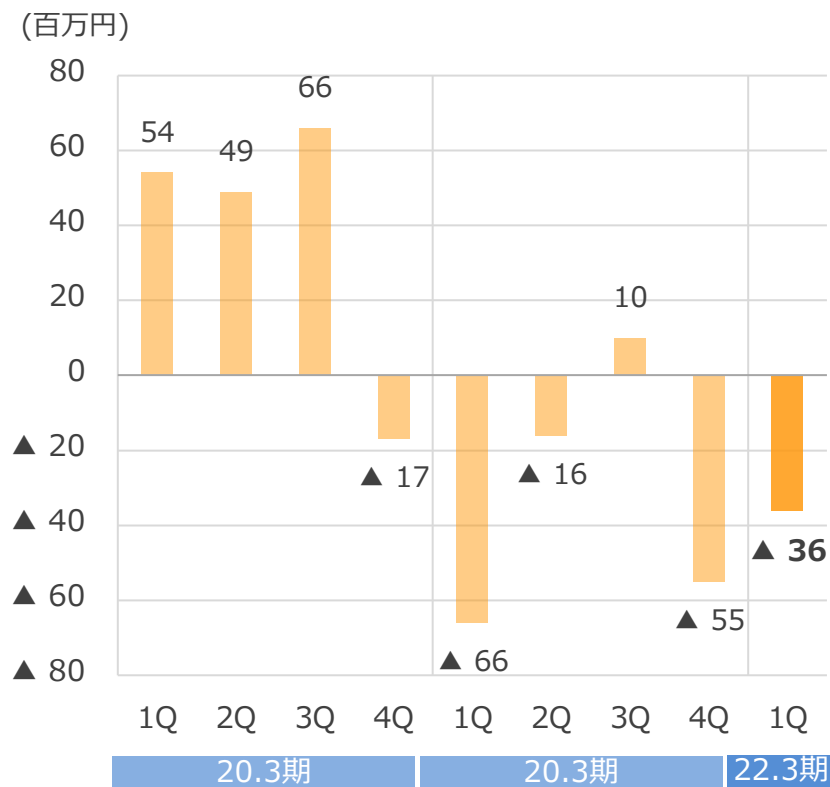
	21.3期1Q (実績)	22.3期1Q (実績)	(前年同期比)
売上高	508	623	+22.6
売上総利益 (総利益率)	172 (33.9)	212 (34.0)	+22.1 (+0.1pt)
営業利益 (営業利益率)	▲66 (▲13.0)	▲36 (▲5.8)	—
経常利益	▲66	▲35	—
四半期純利益	▲43	▲23	—

- 1Qは首都圏においては、4月下旬以降緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置により飲食店は営業制限。当社としても厳しい経営環境

売上高



営業利益

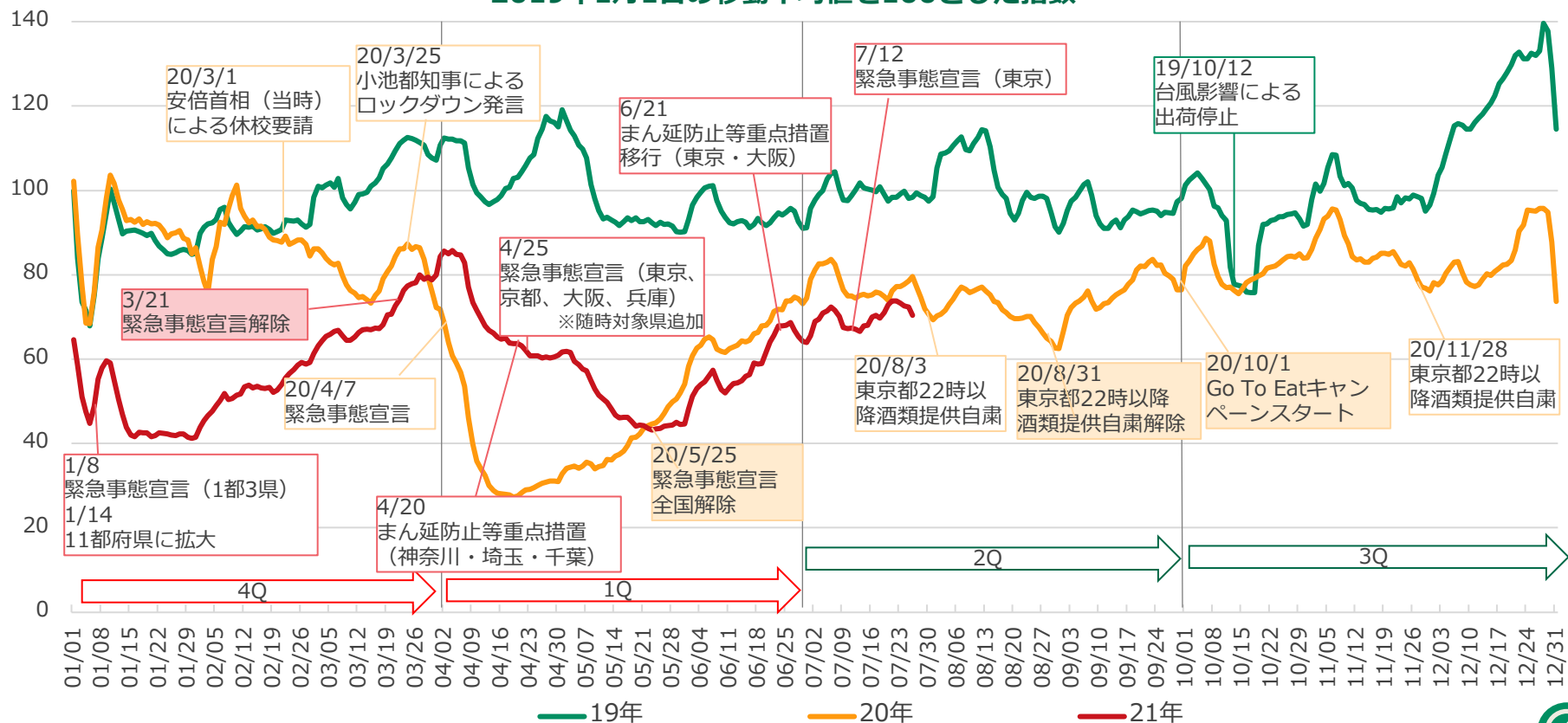


※ 2020年3月期の各四半期は金融商品取引法に基づく財務諸表は作成しておりません

- 東京都においては、4/25の3回目の緊急事態宣言→6/21まん延防止等重点措置→7/12に4回目の緊急事態宣言発出。首都圏3県においては、4/20以降まん延防止等重点措置が続く
- 特に酒類の提供に対しては厳しい制限が課されていることで、居酒屋の経営を圧迫。当社にとっても向かい風が続く。5月下旬以降再度前年比マイナスに

ご参考：日次売上高の推移（7日移動平均）

2019年1月1日の移動平均値を100とした指数



- ワクチン接種は進んでいるものの、現時点（7/30）でも東京都では緊急事態宣言下、その他首都圏3県や大阪府においてもまん延防止等重点措置が継続中。インド型等の変異株が猛威を振るう中、新型コロナウイルスによる影響は不透明な状況
- 当社の主要顧客である居酒屋においては、酒類提供に関しても厳しい制限を課せられており、客数減少や滞在時間の短縮等で当社への影響も避けられず

当社業績見通しに関しては、依然として合理的な予測が困難な状況であるため、**2022年3月期業績予想および配当予想は未定**とし、今後、開示が可能となった時点で速やかに公表いたします

新型コロナウイルスの今後の動向を注視し、顧客支援を継続しつつ、将来を見据えた各種施策には積極的に取り組んでまいります

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません